

浦島太郎的非日常体験（英国病理学会派遣報告書）

大阪大学大学院医学系研究科 病態病理学講座・病理診断科

田原 紳一郎

「プール行くんやろ？」

君の行っているスイミングプールではない。リヴァプールである。しかし派遣が決まったときの私のリヴァプールの知識も残念ながら7歳の息子と大差なかった。

1. リヴァプールはどんなところか？

イギリス北西部の港湾都市であり、古くから貿易で栄え、伝統的な建築物が高く評価されている。ただし近年の開発により2021年にリヴァプールはユネスコの世界遺産から抹消された（この辺の問題は私が現在住んでいる京都と似ている）。個人的には歴史的な街並みと新しい建築物の共存が魅力的であった。日本でいえば横浜に似ているように感じた。日本人にとってなじみがあるのは何といてもビートルズである。リヴァプールへはマンチェスター空港から列車で向かった（マンチェスターとリヴァプールは1830年に世界で初めて営業鉄道路線が開通したところであり、そこを通れるのは鉄道好きとしてちょっと嬉しい）。日本からはマンチェスター空港への直行便がないため香港を経由した。大阪から香港が4時間、香港からマンチェスターが14時間、そしてマンチェスターからリヴァプールが1時間半の長旅であった。

2. Liverpool pathology 2023

日本でいう（春の）病理学会総会に参加させて頂いた。会期は6/27～29の3日間、会場はリヴァプール大学の会館であった。発表に使われた部屋は5つで、最も大きい部屋では300人程度収容出来る。一般演題の時間では複数の部屋で同時進行しており、特別講演の時間は全員が参加出来るように最も大きい部屋でのみ行われる、といった具合である。規模は日本よりもやや小さい印象であったが、話題になっているテーマなどは充分網羅されていたように思う。私と紅林先生は一般演題の中で10分間の発表を行い、同行して下さった都築先生はInternational Lectureとして30分間の講演を行われた。一般演題の質疑応答では他の方はだいたい質問が1～2個であったが、私と紅林先生のときは気を遣って下さったのか質問が多く、ありがたかった（と同時に緊張した）。

3. 学会のエンタメ的要素

1日目の夜はWelcome Reception、2日目の夜はConference Dinnerがあり（3日目の夜は後述）、昼にはサンドイッチやサラダ、ティータイムにはお菓子がビュッフェ形式で提供されていた。Conference Dinnerは参加費60ポンド（約10,800円）とやや高額であったが（我々

は無料で招待されている)、多くの方が参加されており、夜遅くまで盛り上がった。自分の英語のコミュニケーション能力が拙い中、紅林先生と都築先生の存在は大変有難かった。

4. 浦島太郎的非日常体験

私には留学経験はなく、おそらくこれからもないと思われる。仕事や家庭の事情を考えると、海外の学会に参加するというのは不可能ではないが、難しいなあといったところであった。今回このような形でイギリスの学会に参加させて頂き、おそらく旅行では行かない都市に行き、合間の時間に観光し、その土地の雰囲気を味わうことが出来た。これは私の普段の生活からすれば、竜宮城に行ったかのような非日常体験であった。特に印象的だったのは、3日目の夜にロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー管弦楽団のクラシックコンサートに行ったことである（この日のコンサートは英国病理学会がスポンサーに入っており、学会参加者は無料で行くことが出来た。このようなところにお金が使われているのもイギリスらしい）。子供が生まれてから久しくコンサートなど行っていなかった自分にとっては、非日常体験を締めくくるに相応しい印象深いものであった（ちなみに休憩時間中には会場の出入口付近でアイスクリームが販売されており、ホールの座席で皆がアイスクリームを食べているのも新鮮な光景だった）。

5. 最後に

このような貴重な機会を与えて下さり派遣に尽力して下さいました日本と英国の病理学会の皆様へ感謝致します。

帰国してスーツケースを開けると煙がモクモクと出て来て、顕微鏡で病理診断をする時代は終わっていた、ということにはなかったが、不在の間に病院の病理検体の番号はずいぶん進んでいたし、出発前に切った子供の爪もかなり伸びていた。非日常体験を送るにあたり、職場を支えてくれた同僚、及び子供2人の面倒を1人で見てくれた妻にもお礼を言いたい。



左はジョン・レノンが幼少期によく遊んでいたとされる Strawberry Field、右は Penny Lane。この2つがタイトルに入った両A面シングル（50年以上前）はビートルズの代表作の1つ

である。この機会を逃すと一生見られないことは明白だったので、ビートルズの観光バスツアーに乗った。他にビートルズにまつわる有名な地名には Abbey Road があるが、あれはロンドンにある。